

2016年1月18日

政策研究大学院大学

科学技術イノベーション政策研究センター

1. 開催趣旨

科学技術イノベーション政策研究センター（SciREX センター）は、2014年8月の設立以来、政策担当者と研究者、その他関係者が協働する場を提供し、政策立案者と研究者等の経験や専門性に基づき、効果的な科学技術イノベーション政策に資する方法論の開発を進めてきた。

本セミナーでは、SciREX 事業の進展を踏まえ、各プロジェクトの成果や進捗報告を題材に、政策担当者、研究者および関係者が率直な議論を行える場を設け、多角的な観点から政策課題を理解し、政策形成と政策研究の進化を促すとともに、関係者間のネットワーク形成の促進を図る。

2. 主催

政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター（SciREX センター）

3. 共催

文部科学省 科学技術・学術政策局 企画評価課 政策科学推進室

4. 場所

霞ヶ関、虎ノ門など近くの会議室

5. 実施方法等

- SciREX センター企画チームが、政策リエゾン、研究者及び関係者との協議を踏まえ、企画しています。
- コンパクトな話題提供により、十分な議論の時間を確保しています。
- 学術的に完成された成果物にこだわらず、議論に適したテーマ（素材）を選んでいきます。
- 可能な限り中堅・若手クラスの行政官・研究者からの話題提供を促しています。
- 政策リエゾンがファシリテーターを担当します。
- チャタムハウス・ルール¹により運営します。

6. セミナーの様子



第13回 SciREX セミナー（2016年1月7日）

¹ 参加者は当セミナーで得られた情報を利用できるが、その情報の発言者や参加者の身元および所属に関して秘匿する（明示的にも黙示的にも明かにしない）義務を負う。

7. 開催実績

● 第1回 SciREX セミナー『研究開発関連の「投資目標」に関する調査』

- 話題提供者：荒木杏奈氏（株式会社三菱総合研究所科学・安全政策研究本部イノベーション戦略グループ研究員）
- ファシリテーター：赤池伸一氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課分析官）
- 日時：2015年4月24日（金）及び2015年5月8日（金） 18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部及びスタジオ
- 概要：日本及び主要国の政府研究開発投資の目標値及びその目標値が定められた背景についての調査結果を発表後、参加者とディスカッションを行った。
- 参加者数：総計32名（行政：14名、大学・研究機関：16名、民間：2名）
内訳：4月24日（行政：8名、大学・研究機関：9名、民間：2名）
5月8日（行政：6名、大学・研究機関：7名、民間：0名）

● 第2回 SciREX セミナー『政策効果をどう測る？政策評価手法とSTI政策における活用』

- 話題提供者：星野悠哉氏（国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センター元フェロー）
- ファシリテーター：赤池伸一氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課分析官）
- 日時：2015年5月22日（金）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
- 概要：費用対効果分析・費用便益分析について簡単に紹介を行い、教育における海外事例や、科学技術分野への応用可能性について発表後、参加者とディスカッションを行った。
- 参加者数：計24名（行政：15名、大学・研究機関：8名、民間：1名）

● 第3回 SciREX セミナー『研究開発投資の効果をどう測る？経済モデルの多様性・意義とその限界』

- 話題提供者：土谷和之氏（株式会社三菱総合研究所主任研究員）
- ファシリテーター：赤池伸一氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課分析官）
- 日時：2015年5月14日（木）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
- 概要：科学技術イノベーション政策を評価するための経済モデルに関する調査・研究についてレビューし、その意義と限界、今後の展望について発表後、参加者とディスカッションを行った。
- 参加者数：計25名（行政：10名、大学・研究機関：11名、民間：4名）

● 第4回 SciREX セミナー『ライフサイエンス産業のイノベーションメカニズムとは？—日本発ブロックバスター薬の事例調査より—』

- 話題提供者：原泰史氏（政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター専門職）
- ファシリテーター：坂下鈴鹿氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省研究振興局ライフサイエンス課ゲノム研究企画調整官）
- 日時：2015年6月11日（木）18：30～20：00

- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
 - 概要：医薬品の研究開発過程で科学的知識が果たした役割（事例研究）や、特許・論文等の情報を用いた科学とイノベーションの関係を探求する分析（知識フロー研究）、医薬品が社会にもたらす経済効果の分析（経済効果研究）等についての発表後、参加者とディスカッションを行った。
 - 参加者数：計 22 名（行政：8 名、大学・研究機関：11 名、民間：3 名）
- **第 5 回 SciREX セミナー『対話型パブリックコメント、共同事実確認（Joint Fact-Finding）とは？～新たな政策形成プロセスのあり方の探求～』**
- 話題提供者：
 - 松浦正浩氏（東京大学公共政策大学院 特任准教授）
 - 加納圭氏（滋賀大学大学院教育学部研究科准教授、京都大学物質－細胞統合システム拠点（iCeMS）特任准教授、一般社団法人社会対話技術研究所代表理事）
 - ファシリテーター：生田知子氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省大臣官房政策課対話型政策形成室長）
 - 日時：2015 年 6 月 18 日（木）18：30～20：00
 - 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
 - 概要：「対話型パブリックコメント」、「共同事実確認（Joint Fact-Finding）」の具体的事例を紹介した上で、参加者とディスカッションを行った。
 - 参加者数：計 39 名（行政：8 名、大学・研究機関：18 名、民間：10 名、学生：3 名）
- **第 6 回 SciREX セミナー『科学技術イノベーション政策の体系を考える－政策俯瞰と重要施策データベースからの示唆－』**
- 話題提供者：
 - 松尾敬子氏（国立研究開発法人科学技術振興機構研究開発戦略センターフェロー）
 - 富澤宏之氏（文部科学省科学技術・学術政策研究所第 2 研究グループ総括主任研究官）
 - ファシリテーター：
 - 赤池伸一氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省科学技術・学術政策局企画評価 課分析官）
 - 日時：2015 年 7 月 7 日（火）18：30～20：00
 - 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
 - 概要：「科学技術イノベーション政策の俯瞰」、「科学技術イノベーション政策の重要施策データベース」を紹介した上で、それぞれの意義や活用方法、今後の方向性について参加者とディスカッションを行った。
 - 参加者数：計 37 名（行政：14 名、大学・研究機関：16 名、民間：6 名、学生：1 名）
- **第 7 回 SciREX セミナー『イノベーションを促進する「公共調達」とは？～諸外国における SBIR の取組状況～』**
- 話題提供者：佐々木玄太氏（三菱総合研究所研究員）
 - ファシリテーター：岩渕秀樹氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省研究振興局基礎研究振興課基礎研究推進室長）
 - 日時：2015 年 7 月 28 日（火）18：30～20：00
 - 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部

- 概要：主要国の SBIR 関連制度による支援内容や予算規模等を紹介した上で、日本版 SBIR 制度との相違に着目しながら、日本版 SBIR 制度の課題について参加者とディスカッションを行った。
- 参加者数：計 29 名（行政：13 名、大学・研究機関：10 名、民間：4 名、学生：2 名）

● **第 8 回 SciREX セミナー『経済学で考える、科学技術イノベーション政策の効果』**

- 話題提供者：
 - 楡井誠氏（一橋大学イノベーション研究センター客員研究員、兼任：財務総合政策研究所総括主任研究官）
 - 外木暁幸氏（一橋大学経済研究所特任講師）
- ファシリテーター：赤池伸一氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課分析官）
- 日時：2015 年 9 月 9 日（水）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
- 概要：科学技術イノベーション政策の経済成長の効果を分析および評価する手法とその結果、経済学的分析の意義と限界について講演後、参加者とディスカッションを行った。
- 参加者数：計 36 名（行政：13 名、大学・研究機関：18 名、民間：3 名、学生：2 名）

● **第 9 回 SciREX セミナー『ノーベル賞を科学する -科学技術イノベーション政策とノーベル賞の関係-』**

- 話題提供者：
 - 原泰史氏（政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター専門職）
 - 赤池伸一氏（SciREX センター政策リエゾン、文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課分析官）
- 話題提供者兼ファシリテーター：
 - 小山田和仁氏（政策研究大学院大学 SciREX センター専門職）
- 日時：2015 年 9 月 30 日（水）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
- 概要：各国の科学技術イノベーション政策のパフォーマンスを測定する手段としてのノーベル賞に着目し、基礎研究が社会や経済に与える影響を測定し、その重要性を明らかにした。
- 参加者数：計 31 名（行政：10 名、大学・研究機関：12 名、民間：7 名、学生：2 名）

● **第 10 回 SciREX セミナー『経済モデルからみる、科学技術イノベーション政策・政府研究開発投資の経済的效果』**

- 話題提供者：
 - 黒田昌裕氏（政策研究大学院大学 SciREX センター政策分析・影響評価領域プログラム・マネージャー、JST/CRDS 上席フェロー）
 - 池内健太氏（文部科学省科学技術・学術政策研究所第 1 グループ研究員、政策研究大学院大学客員研究員）
- ファシリテーター：高島洋典氏（科学技術振興機構研究開発戦略センターフェロー）
- 日時：2015 年 10 月 21 日（水）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
- 概要：SciREX センターを中心に議論してきた、エビデンス・ベースの政策オプション作成の

ための政策シミュレーターを用いた「IoT 導入の経済的社会的影響評価」の事例を紹介し、政策オプション作成の課題と解決への方策を議論した。

➤ 参加者数：計 44 名（行政：24 名、大学・研究機関：17 名、民間：3 名）

● **第 11 回 SciREX セミナー『オランダ・ラテナウ研究所からみる、欧州・オランダの科学技術政策の現状と課題』**

- 話題提供者：ヤン・スタマン氏（ラテナウ研究所前所長、SciREX センター特別アドバイザー）
- ファシリテーター：鎗目雅氏（東京大学公共政策大学院科学技術イノベーション・ガバナンス特任教授）
- 日時：2015 年 11 月 17 日（火）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
- 言語：英語
- 概要：2015 年 1 月オランダ・ラテナウ研究所にて所長を務められていたヤン・スタマン氏より、オランダにおける科学技術政策と市民との関係、急速に変化する科学技術現場、大学への資金投入の現状、ラテナウ研究所の活動について報告があり、その後参加者との間で議論があった。
- 参加者数：計 18 名（行政：5 名、大学・研究機関：9 名、民間：2 名、学生：2 名）

● **第 12 回 SciREX セミナー『医療の ICT 化とプライバシーは両立するか？—スウェーデンとエストニアの事例から』**

- 話題提供者：
森田朗氏（政策研究大学院 SciREX センターPM、国立社会保障・人口問題研究所長、東京大学名誉教授）
金貝氏（政策研究大学院 SciREX センターポストドクトラルフェロー）
- ファシリテーター：堀田厚氏（文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課調査員 [三菱電機株式会社より出向中]）
- 日時：2015 年 12 月 10 日（木）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部
- 概要：本年 11 月に実施したスウェーデン、エストニアでの現地調査の結果を踏まえ、国民番号制と医療 ICT 化および医療データの利活用で先進国である両国の最新事情を紹介し、日本における医療 ICT 化の課題について比較考察した。その後、医療 ICT 化のシステム構築、プライバシーやセキュリティーにおける課題について、参加者とディスカッションした。
- 参加者数：計 42 名（行政：12 名、大学・研究機関：16 名、民間：13 名、その他：1 名）

● **第 13 回 SciREX セミナー『オープン・イノベーションを政府は支援できるのか - 大村智氏ノーベル賞受賞の意義を論文・特許データと歴史分析から考える』**

- 話題提供者：
馬場錬成氏（科学ジャーナリスト、元読売新聞論説委員）
原泰史氏（政策研究大学院大学 SciREX センター専門職）
- ファシリテーター：奥和田久美氏（文部科学省科学技術・学術政策研究所上席フェロー）
- 日時：2016 年 1 月 7 日（木）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア エキスパート倶楽部

- 概要：2015年にノーベル医学生理学賞を受賞した大村智氏はなぜ受賞に至ったのかについて、その歴史的経緯を明らかにするとともに、研究論文・特許論文のデータ分析から受賞の意義について報告があった。その後、参加者との間で産学連携や知的財産戦略における政府の役割について議論を行った。
- 参加者数：計42名（行政：14名、大学・研究機関：21名、民間：5名、学生：2名）

8. 今後の開催予定

● 第14回 SciREX セミナー『今、なぜ北極政策かー北極をめぐる課題・可能性と北極外交の現状』

- 話題提供者：
 - 濱地智子氏（政策研究大学院大学 SciREX センター専門職）
 - 角南篤氏（政策研究大学院大学教授・学長補佐）
- コメンテーター：白石 和子（外務省特命全権大使（北極担当））
- 日時：2016年2月3日（水）18：30～20：00
- 場所：霞が関ナレッジスクエア スタジオ
- 概要：温暖化に伴う北極域の環境変化は、生活インフラの崩壊や生態系の変化等、域内の社会・経済にさまざまな影響を及ぼし、地球全体への影響も懸念されている。加えて、北極海の海氷減少により北極海航路の利活用や未開発資源へのアクセス等経済的機会も期待される北極に、世界が注ぐ視線は熱い。我が国も、昨年10月に政府として初めて包括的な北極に関する基本政策を決定した。なぜ、今、北極に取り組むのか。北極が抱える課題や可能性、これらを巡る科学技術も活用した関係国の北極外交の状況、科学技術等日本の強みを活かした北極外交への積極関与の可能性とその意義について議論したい。

以上